

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	空家安全対策事業							事業コード	530131						
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	3 生活基盤の確立							
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931						
事業担当	所 属	02030000 地域振興部 まちづくり推進課					所属長	松井 美幸							
会計情報	款	08 土木費		項	05 住宅費		目	01 住宅管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	196・198	頁	
計画期間	開始年度	令和3年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市空家等対策計画				R4現在の状況		継続中	
根拠法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法、福知山市空家等の適正管理に関する条例														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	放置すれば倒壊等著しく周辺に著しく有害となる恐れのある状態にある空家等に対して、所有者等の責任において適切な管理を実施するよう促し、地域住民の生命、身体又は財産を保護するとともに、生活環境の保全を図る。					
対象者	市民		対象者数	76,500	単位あたりコスト	0.3
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	0		11,300		2,091		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		0		11,300		2,091								
予算財源内訳	① 一般財源	0		7,230		2,091								
	② 国支出金	0		4,070		0								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	0		3,410										
	② 配当予算	0		14,710										
	③ 執行額	0		13,243										
	④ 執行率	0.0%		90.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.84	/	0.00	0.84	/	0.00				
	② 概算人件費	0		6,720		6,720		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		19,963		6,720		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	空家安全対策事業(社会資本整備総合交付金)		種類	土木費国庫補助金		実績金額	3,881		決算付属資料	20		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	空家倒壊等による被害	回	/	/	0 / 0	/ 0	0
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	特定空家等の除却処分	戸	/	/	3 / 3	/ 0	0
	単位あたりコスト				4414.3		
			/	/	/	/	
		単位あたりコスト					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	所有者等が存在で周辺に著しく悪影響を与えていた空家について略式代執行による解体を3件実施した。 危険な空家等の解消は、周辺住民の安全で安心な生活を守るための重要課題であり、所有者等が存在となった空家に対しては、行政が取り組む必要性の高い事業である。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	空家等の実態調査は効率性向上のための工夫につながるが、本市が実施した3件の解体の結果から、除却による危険な空家等の解消は、高いコストの回収が難しく効率性が低いことが判明した。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	空家等の実態調査と危険な特定空家等の除却の有効性は非常に高い。 なお、国の社会資本整備総合交付金事業の対象事業として、外部財源の活用を行うほか、跡地売却による債権（除却費用）回収を見込んでいるが、市内の土地の評価額との兼ね合いから、十分な回収は困難である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	これまでに所有者等の不存在であった空家3件を略式代執行により除却し、周辺の生活環境を保全することができた。 【課題】 危険な空家等の解消は、市民の安全で安心な生活のための喫緊の重要課題であるが、行政による除却は効率性の低い事業と判明したため、所有者による適切な管理又は除却を促進しなければならない。 また、国の支援はあるが、市の財源確保に努めなければならない。		
改 善 策	空家対策事業において、所有者等への指導や助言、将来の相続人を含む周辺への啓発と相談会の実施といった施策の充実を図り、所有者等による利活用や除却を推進する。 そのために、地域ごとの実態を調査により把握し、管理責任を持つ所有者等へ的確な情報提供を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	空家対策事業							事業コード	530144					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	3 生活基盤の確立						
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931					
事業担当	所 属	02030000 地域振興部 まちづくり推進課					所属長	松井 美幸						
会計情報	款	08 土木費		項	05 住宅費		目	01 住宅管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	198	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市空家等対策計画						R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法、福知山市空家等の適正管理に関する条例													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	適切な管理がされず長期間にわたり放置されている空家等について調査し、所有者等に対して住宅の適切な管理に必要な助言・指導、勧告等を行い、住環境の整備を図る。					
対象者	市民		対象者数	76,500	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	2,321		2,191		2,145		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
	小計(①～③)	2,321		2,191		2,145								
予算財源内訳	① 一般財源	2,321		2,191		2,145								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	△ 11		0										
	② 配当予算	2,310		2,191										
	③ 執行額	1,747		1,636										
	④ 執行率	75.6%		74.7%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.70	/	0.00	0.84	/	0.00	0.84	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	5,600		6,720		6,720		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		7,347		8,356		6,720		0						
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算付属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標		単位	R1		R2		R3		R4		最終目標			
	空家倒壊等による被害		回	0	/	0	0	/	0	0	/	0	0		
				/		/		/		/					
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標		単位	R1		R2		R3		R4		最終目標			
	協議会開催回数		回	2	/	3	2	/	3	2	/	2	44623		
		単位あたりコスト		380.1		873.5		818.0							
	空家調査戸数		戸	31	/	31	98	/	98	127	/	95	/	105	0
		単位あたりコスト		24.5		17.8		12.9							

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	管理不適切なため周辺から空家等への苦情・相談のあった件に対して、所有者等へ働きかけ、適正な管理を促した。 空家問題は、全国的な重要課題であるが、福知山市の空家率は全国と府の空家率に比べても高くなっており、人口減少、少子高齢化等を勘案すると、市民生活の安全で安心な生活を守るため行政が率先して取り組む必要性の高い事業である。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	空家の実態調査及び所有者調査においては、法に基づき、行政内で保有するデータを有効活用し効率的に調査を実施している。 また、関連の専門家団体と協定を締結し、空家対策の推進における協力体制を、費用負担なく構築している。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	市内に存在する空家の詳細を把握し、所有者に対して意向確認をすることにより、問題意識の喚起を行うことができた。 また、管理不全の空家については、所有者に対する情報提供、行政指導を行うことにより、管理不全の空家の解消を促進することができた。	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	管理不適切な空家等は所有者を搜索して判明した送付先に、情報提供し適正な管理を促している。 また、現地調査の中で管理が不適切であると確認された空家については、毎年現況を確認し、所有者に対し情報提供を行うことで、平成28年度以降22件の解体や補修・改修による解消が図られている。 予防的施策においては、専門家団体と協定を締結し、協力体制を構築している。現状を把握し、適切な施策を打ち出すため令和4年度から空家等の実態調査を実施する。 【課題】 増加する空家等の抑制は、行政による除却や対応だけでは困難であり、所有者等や将来の相続人を含む大規模な啓発等により、所有者等による空家等の利活用や除却を推進する必要がある。		
改 善 策	市民の安全・安心な生活を守るため、所有者が存在しないなど必要性の高い空家等に対して行政が取り組む。 所有者等による問題解決を図る際の支援や補助制度について、個人の資産に対する行政の関与と、市民の生活環境の保全とのバランスの取れた方法を検討していく。また、所有者本人だけでなく将来の相続人を含めた啓発活動を実施していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入 (3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	三和支所きめ細かな安心安全事業						事業コード	510456		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立			
	施策名	1 豊かな生活空間の整備				施策コード	931			
事業担当	所属	02080000 地域振興部三和支所				所属長	井上浩人			
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	86 頁
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中
根拠法令等										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()									
関連事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	地域の実情や緊急性を勘案したきめ細かで迅速な対応により、住民満足度の向上を図る。									
対象者	三和地域の市民				対象者数	3,038		単位あたりコスト	0.5	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()									
委託先・実施主体等										
事業概要 (箇条書き)	住民の安心安全を確保するため、重要かつ緊急に対処しなければならないと支所長が判断した事業を実施 *側溝蓋修繕(1件)、白線修繕(2件) 合計3件									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容						
	需用費	499		市道大原立木線側溝蓋修繕、市道中出牧線白線修繕及び市道菟原線白線修繕						

III 予算執行状況

区 分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	500	500	500	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
	小計(①～③)	500	500	500					
予算財源内訳	① 一般財源	500	500	500					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	50	0						
	② 配当予算	550	500						
	③ 執行額	550	499						
	④ 執行率	100.0%	99.8%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.13 / 0.00	0.14 / 0.00	0.14 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,040	1,120	1,120	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,590	1,619	1,120	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
			/	/	/	/	
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	道路修繕	回	3 / 4	3 / 4	3 / 4	/ 4	
	単位あたりコスト		158.8	183.3	166.3		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	災害等による被害など、住民の安心安全な暮らしを守り、迅速に対処を行うために必要な事業である。 また、地域の安全対策に対しても支所長裁量で早期に対応できる有効な事業である。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	緊急的な小規模事業を支所長判断により対応できる利点がある。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	地域住民の安心安全を確保するため迅速に対応可能な事業であり有効である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・令和3年度においては、地域要望があるが他部署で即時対応が困難であった市道の白線や側溝蓋の修繕を支所長裁量で実施し、安心安全な環境整備を図ることができた。 ・事業の活用方針としては、出水期に発生する災害への緊急措置の原資としているが、その必要がなかった場合は、豪雪による除雪対応や、地域要望があるにもかかわらず、他部署で早期の対応が困難な事業などについて、緊急性や地域の公平性も勘案しながら必要な事業を実施している。		
改 善 策	災害などのよる緊急対応を想定しているが、その必要がなかった場合は、自治会要望の実施状況を考慮しながら、計画的な対応を行っていく。 支所長裁量で早期に対応が可能で市民満足度も高く、住民生活の安心・安全確保のため、今後も事業を継続する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	夜久野支所きめ細かな安心安全事業							事業コード	510454					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立							
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931					
事業担当	所 属	02090000 地域振興部 夜久野支所				所属長	中島 美香							
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	11 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算付属資料	86	頁
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－			R4現在の状況		継続中	
根拠法令等														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	道路などの適切な維持管理や居住地の浸水対策、治山・治水対策のため、地域の実情や緊急性を勘案したきめ細かで迅速な対応により、住民満足度の向上を図る。				
対象者	夜久野地域住民	対象者数	3,059	単位あたりコスト	0.6
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	500		500		500		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
	小計(①～③)	500		500		500							
予算財源内訳	① 一般財源	500		500		500							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	500		500									
	③ 執行額	491		449									
	④ 執行率	98.2%		89.8%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.14	/	0.00	0.18	/	0.01	0.18	/	0.01	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	1,120		1,465		1,465		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,611		1,914		1,465		0					
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
			/	/	/	/	
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	実施件数	件	2 / 2	3 / 2	2 / 2	/ 2	2
	単位あたりコスト		165.0	163.7	224.5		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	地域自治会からの要望を元に、夜久野地域における住民生活の安心・安全確保のために緊急対応を2件実施した。本事業は必要である。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	道路管理上一般的に実施される工法と現地で必要な工法を比較し、必要な工法のみを実施することで、コスト削減を実施した。 自治会要望の中で緊急的な小規模事業を支所長判断により対応できる利点がある。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	2件の実施件数を適切に実施し、地域の実情に合わせた対応が出来ることから有効である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	自治会要望の中から優先度と緊急性を考慮し、令和3年度は、道路の修繕2件を支所長裁量で実施した。 このことにより、住民生活の安心安全を確保することができた。 近年、近隣地域住民(川口や上豊etc)にも利用いただいくようになった支所機能を考える中では、この「きめ細かな安心安全事業」を活用できる地域が旧町エリアだけで良いのか、支所のあり方と共に再考すべき時期に来ている。		
改 善 策	きめ細やかな対応ができることから市民満足度も高く、今後も事業を継続することで、住民生活の安心・安全確保を更に図るようにする。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	大江支所きめ細かな安心安全事業					事業コード	510455				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立				
	施策名	1 豊かな生活空間の整備				施策コード	931				
事業担当	所属	02100000 地域振興部 大江支所				所属長	神内 明宏				
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	86	頁
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()										
関連事業											

事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	大江地域での迅速で、きめ細かい対応による市民満足度の向上を図る。										
対象者	大江地域の住民				対象者数	3,982		単位あたりコスト	0.4		
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()										
委託先・実施主体等	福知山市に登録がある業者										
事業概要 (箇条書き)	・地域要望の道路、施設修繕等の実施。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	需用費	223	消耗品費(道路保安用品等購入) 修繕料(トイレ階段修繕)								
	備品購入費	245	庁用備品(蜂防護服購入) その他機械器具等(側溝用蓋上げ機購入、チェーンソー購入)								

予算執行状況

区 分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	500	500	500	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
	小計(①～③)	500	500	500					
予算財源内訳	① 一般財源	500	500	500					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	500	500						
	③ 執行額	495	469						
	④ 執行率	99.0%	93.8%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.15 / 0.00	0.16 / 0.00	0.16 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,200	1,280	1,280	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,695	1,749	1,280	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	※定性的評価	—	— / —	— / —	— / —	— / —	—
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	実施箇所	箇所	3 / 2	2 / 2	1 / 2	— / 2	2
	単位あたりコスト		165.0	247.5	469.0		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	R3年度は修繕を1箇所行い、その他は自治会が利用できる物品の購入を行った。自治会要望を精査し、緊急性が高い小規模修繕等に迅速に対応が可能であることから、市民満足度の向上を図るうえで必要である。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	R3年度は修繕を1箇所行い、その他は自治会が利用できる物品の購入を行った。小規模修繕等に限られており、また支所長権限によるため、迅速かつきめ細かな対応が可能であり、併せて経費削減に努めている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	R3年度は修繕を1箇所行い、その他は自治会が利用できる物品の購入を行った。小規模修繕等であるため、各自治会からの要望対応ができ、住民生活の安心安全が図れる。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	住民の安心安全を確保するための小規模な修繕等が、速やかに対応することができた。小規模な修繕等であるため、複数の案件に対応ができることから継続的に取り組む。500千円といった限られた予算で地域内の対応であるため、多くの修繕等を実施することができないことが課題である。		
改 善 策	自治会要望等の精査、関係課と調整により、より多くの修繕等が実施できるよう努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	戸籍総合システム等改修事業										事業コード	810205		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	3 生活基盤の確立						
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備							施策コード	931				
事業担当	所 属	05030000 市民総務部 市民課					所属長	横山 尚子						
会計情報	款	02 総務費		項	03 戸籍住民基本台帳費		目	01 戸籍住民基本台帳費		会計	01 一般会計	決算付属資料	96	頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和5年度	関連計画名	ー					R4現在の状況		継続中	
根拠法令等	戸籍法、住民基本台帳法、デジタル手続法													
事業区分	☒ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	社会保障・税番号制度に係る国・地方公共団体間での情報連携が令和5年度末から開始され、行政の電子化を進める。市民課では、ネットワーク連携に関連する各システムに必要な改修(戸籍情報連携システムへの接続に係る改修、情報提供用個人識別符号に係る改修、戸籍事務内連携に係る改修)を行う。					
対象者	戸籍:福知山市に本籍がある人 住基:福知山市に住民登録がある市民		対象者数	170,654	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	8,613		2,720		9,460		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	2,557		3,281		0								
	③ 繰越予算	△ 6,424		3,143		3,281								
	前年度繰越	0		6,424		3,281								
	次年度繰越	△ 6,424		△ 3,281		0								
小計(①～③)		4,746		9,144		12,741								
予算財源内訳	① 一般財源	766		2,720		4,467								
	② 国支出金	3,980		6,424		8,274								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	4,746		9,144										
	③ 執行額	3,686		8,564										
	④ 執行率	77.7%		93.7%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.21	/	0.00	0.21	/	0.00	0.21	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	1,680		1,680		1,680		0		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		5,366		10,244		1,680		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	戸籍総合システム等改修費補助金		種類	総務費国庫補助金		実績金額	396		決算付属資料	16		頁
			戸籍総合システム等改修費補助金(繰越明許費分)			総務費国庫補助金			6,424			16		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	戸籍届受付数(本+非本+送付)	件	/	4178 / 5000	3979 / 5000	/ 5000	5000
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	戸籍、住基等事務研修	回	/	3 / 4	3 / 4	/ 3	4
	単位あたりコスト			1228.7	2854.7		
	法改正の研修会への参加	回	/	2 / 2	2 / 2	/ 2	3
	単位あたりコスト			1843.0	4282.0		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	段階的改修の最終期限は令和5年度末までと法令で定められており、国から提示される仕様書に基づき実施する。マイナンバー制度に基づく行政の電子化に向けた改修である。戸籍の広域交付や戸籍謄本の添付省略化を目指す。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	当該経費は事業を実施する上で必要不可欠なものである。各システム業者独自の改修のため価格交渉を行い、補助金申請も行う。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	戸籍の親子関係や住所の情報を税・社会保障等行政事務全般で利用できるようになり、各種届出・申請時に戸籍の提出を省略できるようになるため、市民の利便性を向上させる重要な改修である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	〔評価〕 マイナンバー制度に基づき、戸籍電算システム及び住基システム等を段階的に改修し、手続きにおける市民等の負担軽減が実施できる。 〔課題〕 戸籍電算システム、住基システム等の改修が国のスケジュールに従い、確実に実施することで、手続きにおける市民等の負担軽減が継続して提供できるように努める。		
改 善 策	マイナンバー制度に基づく行政手続きの効率化のため、戸籍電算システム及び住基ネットワークシステムを段階的に改修する。令和5年度末まで、国のスケジュールにより改修を進める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	社会保障・税番号制度実施に係る整備等事業							事業コード	810250					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立							
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931					
事業担当	所 属	05030000 市民総務部 市民課				所属長	横山 尚子							
会計情報	款	02 総務費		項	03 戸籍住民基本台帳費		目	01 戸籍住民基本台帳費		会計	01 一般会計	決算付属資料	96	頁
計画期間	開始年度	平成26年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	－					R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律													
事業区分	☒ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	社会保障・税番号制度は、社会保障制度及び税制における給付と負担の適切な関係の維持や申請、届出、その他の行政手続きの合理化、国民の利便性の向上に資するものである。 市民課では、制度の根幹となるマイナンバーの付番やマイナンバーカードの申請・交付及び運用に係る事務を行う。					
対象者	福知山市民		対象者数	77,061	単位あたりコスト	0.7
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	47,030		36,645		25,944		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	2,765		4,476		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		49,795		41,121		25,944								
予算財源内訳	① 一般財源	1,687		0		0								
	② 国支出金	48,108		41,121		25,944								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	49,795		41,121										
	③ 執行額	35,303		32,538										
	④ 執行率	70.9%		79.1%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	1.30	/	0.50	2.00	/	1.10	2.00	/	1.10	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	11,650		18,750		18,750		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		46,953		51,288		18,750		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	個人番号カード交付事業費補助金		種類	総務費国庫補助金		実績金額	25,094		決算付属資料	18		頁
			個人番号カード交付事務費補助金			総務費国庫補助金			7,296			18		
			マイナポイント事業費補助金			総務費国庫補助金			64			18		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	個人番号カード累計交付枚数	枚	9913	/	8000	20014	/	16000	31511	/	77061
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	制度に関する広報	回	2	/	4	4	/	4	2	/	3
	単位あたりコスト		5733.8		8825.8		16269.0				
	個人番号カード休日窓口開庁	日	6	/	6	24	/	10	24	/	36
	単位あたりコスト		1911.3		1471.0		1355.8				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	デジタル社会の形成に向け、その基盤となるマイナンバーカードの普及促進は重要であり、マイナンバーカードに係る申請交付運用に関する事務は必要性がある。 国が目指す「令和4年度末にはほぼ全国民にマイナンバーカードが行き渡るように」の目標達成のため、マイナンバーカードの普及促進の取組の強化の必要性がある。 ・窓口、郵送、スマートフォンなど多様な申請方法の案内と出張申請窓口の設置など申請機会の拡大 ・簡単に申請ができるように写真撮影と同時にオンライン申請ができるタブレットの導入 ・交付時の来庁を不要とする郵送交付の取組の実施	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	マイナンバーカード申請者が準備する証明写真を無料撮影するサービスで申請に係る負担・経費を軽減することや、マイナンバーカードを郵送で交付することで、受け取りのための来庁を不要とするなどの方法によりマイナンバーカードの普及促進を効率的に進められている。 ・簡単に申請ができるように写真撮影と同時にオンライン申請ができるタブレットの導入 ・交付時の来庁を不要とする郵送交付の取組の実施	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	オンライン化などの行政手続きの進展により、マイナンバーカードは必要不可欠なものとなるため、マイナンバーカードの普及促進の取組は有効かつ重要である。 マイナンバーカードの普及促進のため、申請機会拡大の取組により申請者数を増やし、郵送交付や受取勧奨通知などによりマイナンバーカードの確実な交付に努め普及促進に繋がっている。 ・窓口、郵送、スマートフォンなど多様な申請方法の案内と出張申請窓口の設置など申請機会の拡大 ・簡単に申請ができるように写真撮影と同時にオンライン申請ができるタブレットの導入 ・交付時の来庁を不要とする郵送交付の取組の実施 ・未交付のマイナンバーカードを予防するため、受取勧奨通知の発送	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	社会保障・税番号制度は、社会保障制度及び税制における給付と負担の適切な関係の維持や申請、届出、その他の行政手続きの合理化、国民の利便性の向上に資するものである。 市民課では、制度の根幹となるマイナンバーの付番やマイナンバーカードの申請・交付及び運用に係る事務を行う。 マイナンバーカードは全年齢で全市民が保有できるものであるが、その取得については任意である。そのため、全市民の取得には至っていない現状である。 マイナンバーカードの利便性を高め、生活に必要な不可欠となるなど利用の機会を拡大させることが必要である。 また、学齢期の子どもや高齢者、就労者、障害のある方や病氣療養中などの方が取得し易くなるよう申請機会の拡大や申請に係る負担の軽減をする必要がある。		
改 善 策	マイナンバーカードの申請機会の拡大、マイナンバーカードの郵送受け取りの推奨など申請しやすく、交付を受けやすい環境づくり		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	市営墓園整備事業							事業コード	540514		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	3 生活基盤の確立			
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931		
事業担当	所 属	05030000 市民総務部 市民課					所属長	横山 尚子			
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	03 環境衛生費	会計	01 一般会計	決算付属資料	146	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名				R4現在の状況	廃止/休止	
根拠法令等	福知山市墓園条例										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☒ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市営墓園の整備工事にかかる経費				
対象者	市民	対象者数	76,037	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0		10,600		0		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		0		10,600		0							
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	0		10,600		0							
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	0		10,600									
	③ 執行額	0		10,193									
	④ 執行率	0.0%		96.2%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.11	/	0.00	0.11	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	0		880		880		880		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		11,073		880		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	長谷墓園管理事業基金繰入		種類	基金繰入金		実績金額	6,111		決算付属資料	36		頁
		長田野墓園管理事業基金繰入			基金繰入金			4,081			36		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	工事件数	件	/	/	2 / 2	/	2
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	工事件数	件	/	/	2 / 2	/	2
	単位あたりコスト				5096.5		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	衛生面と墓地区画使用者の利便性の向上のため、また、土砂などが墓園の法下の道路への流出を防止し、施設を良好な状態で維持するために必要な工事である。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	施設の状態に応じ必要性を考慮し施工するため効率的である。。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	衛生面と墓地区画使用者の利便性の向上のため、また、土砂などが墓園の法下の道路への流出を防止し、施設を良好な状態で維持するためには有効であり、墓園の基金を財源としている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	設置から30年以上が経過している施設を撤去及び新設したことで、衛生面と墓地区画使用者の利便性の向上が図れた。また、長年にわたる雨等でくずれてきた墓園の法面を改修したことにより、土砂などの法下の道路への流出を防止できた。2件とも予定通り年度内完成した。		
改 善 策	施設を良好な状態で維持するため、施設の状態に応じ必要性が生ずれば改修等の検討を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	斎場施設改修事業							事業コード	540560					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	3 生活基盤の確立						
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931					
事業担当	所 属	05030000 市民総務部 市民課					所属長	時井 博信						
会計情報	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	03 環境衛生費		会計	01 一般会計	決算付属資料	146	頁
計画期間	開始年度	平成8年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名						R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	墓地・埋葬等に関する法律													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☒ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・人生終焉の地にふさわしい施設として、葬祭棟・火葬棟の維持管理及び運営を行う。 ・使用者(遺族)にとって心やすらかに故人を見送ることができるよう、安心・安全で、豊かな自然に囲まれた環境を維持していく中で、葬祭と火葬を執り行う。					
対象者	葬祭棟・火葬棟使用者		対象者数	30,000	単位あたりコスト	0.6
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	76,700		37,000		40,700		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	△ 7,000		0		0								
	③ 繰越予算	0		△ 24,992		24,992								
	前年度繰越	0		0		24,992								
	次年度繰越	0		△ 24,992		0								
小計(①～③)		69,700		12,008		65,692								
予算財源内訳	① 一般財源	3,500		608		3,392								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	66,200		11,400		62,300								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	△ 6,641		△ 989										
	② 配当予算	63,059		11,019										
	③ 執行額	60,808		10,802										
	④ 執行率	96.4%		98.0%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.67	/	0.08	0.69	/	0.08	0.69	/	0.08	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	5,560		5,720		5,720		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		66,368		16,522		5,720		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	斎場施設改修事業(旧合併特例)		種類	衛生債		実績金額	10,200		決算付属資料	50		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	告別式場使用件数	件	190	/	200	158	/	200		/	200
	施設改修件数	件	/		/		3 / 10		/ 10		10
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	火葬件数	件	957	/	1000	953	/	1000	1068	/	1000
	単位あたりコスト		46.4		63.8		10.1				
			/		/		/		/		
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・家族葬の増大等、社会状況の変化に応じた葬祭・火葬サービスを提供できるよう心掛けている。 ・使用者や市民の要望に的確に応えるためには、民間業者の実施は困難である。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・職員体制、施設の維持管理については、必要最小限のコストとなっている。 ・使用料については、他市と比較して高額であり、今以上の負担額は困難である。 ・場内外の照明等すべてLED化を図るとともに日々節電に取り組む。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・施工後25年が経過し、施設の老朽化が進んでいるが、年間を通じて適切な施設管理及び安全で確実な火葬業務を実施している。 ・使用者に対しては、斎場使用に関するアンケートを行い、施設の満足度について調査している。調査結果に対処することで、引き続き使用者に満足していただける質の高いサービスを提供していく。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	(1)葬祭棟・火葬棟の老朽化による施設の改修を行っている。また、施設に関わる適正な保守管理を行っており、特に周辺大気及び火葬炉排ガス測定については、地元との環境目的値や基準値の協定を遵守した運営を行っている。 (2)長田野運動公園、西奥池広場等を含め、関係課と連携し、周辺の環境整備・保全を行っている。 (3)家族葬等の経費を抑えた葬儀にも対応できるように、安置室等の使用を推奨している。 (4)年間通して職員ほか委託業者と連携し元日を除く364日、火葬・告別式・通夜等の対応を行っている。 (5)場内外の照明すべてをLED化に改修し、節電に取り組む。		
改 善 策	人生終焉の地にふさわしい施設として (1)葬祭棟・火葬棟の老朽化に対し、適切な維持管理を行う。 (2)斎場が立地する場所として、心安らかに過ごすことができるよう周辺の自然環境の整備及び保全を行う。 (3)使用者への安心・安全な葬祭及び火葬を行う。 (4)使用者や市民の要望に的確に対応する。 (5)場内外の照明すべてLED化に改修するとともに、日々の節電に留意し、光熱水費の削減に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入 (3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	情報通信環境再整備事業					事業コード	140108				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立				
	施策名	1 豊かな生活空間の整備				施策コード	931				
事業担当	所属	05100000 市民総務部 情報推進課				所属長	藤田 正美				
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	12 地域情報化推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	90	頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和10年度	関連計画名	e-ふくちやま事業再整理基本計画			R4現在の状況	継続中	
根拠法令等											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()										
関連事業											

事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	地域間情報格差の是正を目的とし、テレビ難視聴地域に対する地上デジタル放送再送信サービスや民間事業者の高速インターネット接続環境が提供されていない地域に対するインターネット接続サービスを提供している「e-ふくちやま」事業について、将来的にも顧客ニーズにあった持続可能で安定したサービス提供を図るため、事業の民営化を行った。 本事業では、民間事業者によるサービス提供に対して財政支援を行い、地上デジタル放送等の情報通信環境基盤を適切に維持する。										
対象者	「e-ふくちやま」事業サービス提供エリアの住民や法人等				対象者数	3,243		単位あたりコスト	19.7		
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 ()										
委託先・実施主体等	(株)オプテージ										
事業概要 (箇条書き)	平成30年度に終了したe-ふくちやま事業について、e-ふくちやま事業の民営化に関して市と基本協定を締結した株オプテージへ運営保守にかかる財政支援を行う。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	負担金補助及び交付金	61,500	e-ふくちやま事業民営化先への運営保守にかかる財政支援								
	使用料及び賃借料	10	携帯基地局土地借上料								

予算執行状況

区 分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	61,511	61,511		61,511		予算編成時記入 (3次公表時)			
	② 補正予算	0	0		0					
	③ 繰越予算	0	0		0					
	前年度繰越	0	0		0					
	次年度繰越	0	0		0					
小計(①～③)		61,511	61,511		61,511					
予算財源内訳	① 一般財源	62	80		96					
	② 国支出金	0	0		0					
	③ 府支出金	0	0		0					
	④ 地方債	13,000	0		0					
	⑤ その他特財	48,449	61,431		61,415					
決算情報	① 流充用額	0	0							
	② 配当予算	61,511	61,511							
	③ 執行額	61,511	61,510							
	④ 執行率	100.0%	100.0%							
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.23 / 0.00	0.30 / 0.00	0.30 / 0.00		0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,840	2,400		2,400		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		63,351	63,910		2,400		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域振興基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	21,300	決算付属資料	38	頁	
		過疎地域持続的発展基金繰入金		基金繰入金		40,000		38		

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	福知山市限定コース利用件数	件	2359	/ 2300	2306	/ 2300	2239	/ 2300	/ 2300	2300	
			/		/		/				
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	補助金交付	件	1	/ 1	1	/ 1	1	/ 1	/ 1	1	
	単位あたりコスト		-		-		61500.0				
			/		/		/				
	単位あたりコスト										

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	民間事業者に補助金を支出したことにより、テレビ再送信サービスとインターネット接続サービスを安定して提供できた。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	市の直営で実施していた場合は、令和10年まで60億円近くの負担増となる見込みであり、コストダウンできた。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	平成30年度には移行対象とした4100件の移行が完了し、これによりe-ふくちやま事業の民営化が完了した。 プロポーザルでの提案、協定書に基づき、運用経費の支援を行うことにより、安定してサービス提供できている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	e-ふくちやま事業で提供してきた地上デジタル放送と高速インターネット接続サービスについて、民間事業者によるサービスに転換した。このことにより、e-ふくちやま事業よりも多様で豊富なサービスが実現、かつ、安定して提供できている。 ㈱オプテージ(旧社名:ケイオプティコム)との間で、令和10年度までの期間で、e-ふくちやま事業民営化に関する基本協定を結んでいる。 また、予算措置についても、平成27年度から令和10年度までの間で21億4800万円の債務負担行為を設定している。		
改 善 策	令和3年度分から押印を廃止したことにより、民間事業者からの資料提出期間の短縮ができた。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	住宅費一般管理事業							事業コード	530123					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	3 生活基盤の確立						
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931					
事業担当	所 属	35030000 建設交通部 建築住宅課					所属長	中川 博文						
会計情報	款	08 土木費		項	05 住宅費		目	01 住宅管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	196	頁
計画期間	開始年度	昭和50年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名					R4現在の状況	継続中	
根拠法令等														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☒ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市営住宅の適正な維持管理、本市の建築工事の実施に関わる建築住宅課受任工事を実施するために必要となる消耗品、公用車、電子計算機等の維持管理を実施することを目的とする。					
対象者	市民		対象者数		単位あたりコスト	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	9,975		10,403		11,861		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
	小計(①～③)	9,975		10,403		11,861							
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	9,975		10,403		11,861							
決算情報	① 流充用額	288		291									
	② 配当予算	10,263		10,694									
	③ 執行額	9,859		10,488									
	④ 執行率	96.1%		98.1%									
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	2.62	/	0.10	2.75	/	0.10	2.75	/	0.10	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	21,210		22,250		22,250		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		31,069		32,738		22,250		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市営住宅使用料(過年度分)		種類	土木使用料		実績金額	3,305		決算付属資料	12		頁
		団地内駐車場使用料(過年度分)			土木使用料			418			12		
		府営住宅団地貸付収入			財産貸付収入			6,724			32		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	システムトラブル	回	0	/	0	0	/	0	/	0	0
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	システム保守対応件数	件	2	/	2	2	/	2	/	2	0
	単位あたりコスト		6858.1		4929.5		5244.0				
	単位あたりコスト		/		/		/		/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	市営住宅管理システム、積算システムの維持管理や公用車管理など、市営住宅管理及び受任工事を実施するために最低限必要なものであり、建築住宅課の事業の根幹を成すものとして実施した。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	市営住宅管理システム、積算システムの導入により、事務効率の向上が図られており、人件費削減に寄与している。また、長期継続契約ができるものは、価格交渉の上、長期継続契約を締結した。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	市営住宅使用料の徴収及び設計業務において事務の効率化を図った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	市営住宅管理に係る使用料徴収、入退去管理及び受任工事の設計業務において使用する電子計算機を整備、維持管理しており、適正に維持管理が実施されたことで効率的な事務執行が行えた。		
改 善 策	公用車及び電子計算機のリースについては、リースに係るコストを削減するため、引続き長期継続契約による維持管理を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	市営住宅保守管理事業							事業コード	530127					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	3 生活基盤の確立						
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931					
事業担当	所 属	35030000 建設交通部 建築住宅課					所属長	中川 博文						
会計情報	款	08 土木費		項	05 住宅費		目	01 住宅管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	196	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名							R4現在の状況	継続中	
根拠法令等														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市営住宅の共用設備等の保守や住宅管理人の選定、敷地内の除草など市営住宅の住環境を良好に維持し提供する。				
対象者	市営住宅入居者	対象者数	1,385	単位あたりコスト	16.2
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	13,271		12,584		13,229		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		13,271		12,584		13,229								
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	13,271		12,584		13,229								
決算情報	① 流充用額	863		78										
	② 配当予算	14,134		12,662										
	③ 執行額	13,988		12,413										
	④ 執行率	99.0%		98.0%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	1.17	/	0.00	1.25	/	0.00	1.25	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	9,360		10,000		10,000		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		23,348		22,413		10,000		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	市営住宅使用料(現年度分)		種類	土木使用料		実績金額	500		決算付属資料	12		頁
			団地内駐車場使用料(現年度分)			土木使用料			6,943			12		
			府営住宅団地貸付収入			雑入			4,970			32		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	エレベーター故障回数	回	0	/	0	0	/	0	/	0	0
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	消防設備点検保守	団地	16	/	16	16	/	16	/	16	16/16
		単位あたりコスト	575.2		874.3		775.8				
	エレベータ保守点検	団地	2	/	2	2	/	2	/	2	0
		単位あたりコスト	4601.4		6994.0		6206.5				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	法定点検の適正な実施と給水設備やエレベーターなどの保守を実施することにより、安心安全な生活環境を提供した。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	住宅管理人、駐車場管理人を市営住宅又は所属自治会の住民から選任することにより、地域の自発的な活動が確保され、住宅の環境・衛生の保全において、住民活動による維持・保全及び管理意識の向上によりコストを削減した。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	設備を長期に安全に利用するための定期的な保守点検を実施した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	設備が原因となる事故等を未然に防止し、住民の生活に欠かせない設備等の保守点検や住宅の保守管理が効果的に実施できた。		
改 善 策	設備自体の老朽化により、メンテナンスだけでは維持できなくなることを予測し、こまめな点検を継続して実施し、必要に応じて改修、更新作業を行う。 樹木の繁茂、立木の腐朽等による不測の事故を防ぐため、計画的に伐採、剪定を行っていく必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	市営住宅修繕事業							事業コード	530129					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	3 生活基盤の確立						
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931					
事業担当	所 属	35030000 建設交通部 建築住宅課					所属長	中川 博文						
会計情報	款	08 土木費		項	05 住宅費		目	01 住宅管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	196	頁
計画期間	開始年度	昭和28年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名					R4現在の状況	継続中	
根拠法令等														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	自力では適正な住宅の確保が困難な世帯に対して、住宅セーフティネットの機能として、市営住宅の良好な住環境を提供する。					
対象者	市営住宅入居者		対象者数	1,339	単位あたりコスト	40.9
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	24,800		31,700		28,598		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	△ 3,333		3,333		0								
	前年度繰越	0		3,333		0								
	次年度繰越	△ 3,333		0		0								
小計(①～③)		21,467		35,033		28,598								
予算財源内訳	① 一般財源	0		3,333		0								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	21,467		31,700		28,598								
決算情報	① 流充用額	8,752		△ 1,242										
	② 配当予算	30,219		33,791										
	③ 執行額	30,219		33,632										
	④ 執行率	100.0%		99.5%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	3.05	/	0.00	2.65	/	0.00	2.65	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	24,400		21,200		21,200		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		54,619		54,832		21,200		0						
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称	市営住宅使用料(現年度分)		種類	土木使用料		31,576		実績金額	12		決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	入居がある団地	戸	761	/	1086	740	/	1086	733	/	1025
			/		/		/		/		0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	施設修繕	戸	405	/	650	370	/	650	336	/	650
		単位あたりコスト	73.8		81.7		100.1				0
	空家修繕	戸	6	/	20	6	/	7	12	/	5
		単位あたりコスト	4981.8		5036.5		2802.7				0

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	住生活の支障となる維持修繕を行うことにより、居住性の維持が図られている。空家についても、予算に応じた、計画性をもった募集戸数にて実施を行い、市民ニーズに答えている。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	維持修繕においては、不良個所のための補修を行うなど、コスト削減に努め、住宅使用料を財源にするなど努めている。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	適切な維持管理を行うことにより、住環境の維持や建物の長寿命化が図れ、市民満足が得られている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	住確保配慮者に対する住宅セーフティネットとして有効であり、老朽化した建物の住環境の維持、向上のために有効である。修繕を行うことで、住環境の維持はもちろんのこと、市民サービス、満足度の向上にも繋がる。		
改 善 策	マネジメントや建替え等で住宅管理戸数の削減や改修、改善工事を行い長寿命化を図り修繕費の削減を行う計画である。雨漏り等突発的な修繕もあるが、個所数は減少傾向にある。今後も早期に対応し、長寿命化に努めたい。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	市営住宅改善事業							事業コード	530130					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	3 生活基盤の確立						
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931					
事業担当	所 属	35030000 建設交通部 建築住宅課					所属長	中川 博文						
会計情報	款	08 土木費		項	05 住宅費		目	01 住宅管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	196	頁
計画期間	開始年度	平成14年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市公営住宅等長寿命化計画				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	福知山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、高齢化対応をはじめ、居住環境の改善を図る。				
対象者	市営住宅入居者	対象者数	1,339	単位あたりコスト	92.5
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	119,600		158,420		99,000		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	△ 10,400		△ 48,000		0								
	③ 繰越予算	△ 3,810		3,810		0								
	前年度繰越	0		3,810		0								
	次年度繰越	△ 3,810		0		0								
小計(①～③)		105,390		114,230		99,000								
予算財源内訳	① 一般財源	0		9,188		0								
	② 国支出金	36,220		40,322		36,000								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	36,200		38,500		36,000								
	⑤ その他特財	32,970		26,220		27,000								
決算情報	① 流充用額	△ 9,746		△ 3,410										
	② 配当予算	95,644		110,820										
	③ 執行額	88,693		106,528										
	④ 執行率	92.7%		96.1%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	2.10	/	0.00	2.17	/	0.00	2.17	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	16,800		17,360		17,360		17,360		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		105,493		123,888		17,360		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	社会資本整備総合交付金(現年・繰越)		種類	土木費国庫補助金		実績金額	33,954		決算付属資料	20		頁
			市営住宅使用料(現年度)			土木使用料			26,220			12		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	バリアフリー化	戸	18	/	20	51	/	51	0	/	0
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	高齢者向改善工事	戸	18	/	20	51	/	51	0	/	0
		単位あたりコスト	4629.0		1739.1						
	住宅用火災警報器更新工事	戸	186	/	191	0	/	0	0	/	0
		単位あたりコスト	448.0								

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	市営住宅の機能性向上改修や設備の改善を計画的に行い、居住性の向上および建物の長寿命化が図られた。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	複数棟の工事を一括発注することによる経費削減や、ランニングコストも視野にいった工法選択によりコスト削減を図った。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	建物の長寿命化など、住環境の維持、向上のため、改善工事を実施した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	市営住宅の長寿命化や住環境の維持を行う上で必要な事業であり、市民サービス、満足度の向上にも繋がっているため計画的に、継続して実施する必要がある。		
改 善 策	何れの改修も入居者の理解、協力が必要であるが、住戸内の改修においては断られる場合がある。事業の内容や、必要性を十分に説明し理解が得られるよう努めたい。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	市営住宅明渡し事業							事業コード	530133					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	3 生活基盤の確立						
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931					
事業担当	所 属	35030000 建設交通部 建築住宅課					所属長	中川 博文						
会計情報	款	08 土木費		項	05 住宅費		目	01 住宅管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	198	頁
計画期間	開始年度	昭和50年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名					R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	公営住宅法、福知山市営住宅条例													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市営住宅使用料の悪質な滞納や不正同居などを解消し、市営住宅住民の公平性を確保する。					
対象者	市営住宅使用料滞納者		対象者数	100	単位あたりコスト	36.8
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,708		1,448		1,440		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		1,708		1,448		1,440							
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	1,708		1,448		1,440							
決算情報	① 流充用額	△ 146		0									
	② 配当予算	1,562		1,448									
	③ 執行額	195		32									
	④ 執行率	12.5%		2.2%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.60	/	0.45	0.30	/	0.50	0.30	/	0.50	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	5,925		3,650		3,650		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,120		3,682		3,650		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	市営住宅使用料(過年度分)		種類	土木使用料		32		決算付属資料	12		頁
						実績金額							

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標		単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	判決、和解件数		件	2	/ 2	0	/ 4	1	/ 2	/ 2	4	
				/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標		単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	訴訟件数		件	2	/ 2	0	/ 4	1	/ 2	/ 2	4	
		単位あたりコスト		178.0				32.0				
				/		/		/		/		
		単位あたりコスト										

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	納付の公平性が確保できなければ、行政制度への信頼は揺らぎ、市営住宅の管理運営に大きな支障をきたすことは明白である。市営住宅の使用料は、入居者の所得に応じた応能家賃であり、さらに市独自の減額制度や猶予制度を設けているなかで、悪質な滞納者に対して毅然とした態度を示すため、滞納者に応じた法的措置を実施した。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	市営住宅使用料は民事債権であるため、自力執行は法により禁じられており、賃貸借契約の解除や明渡し、債権の強制執行は、訴訟等法的措置に拠らなければならない。従来、顧問弁護士に委託し法的措置を実施していたが、職員による実施によりコスト削減を図った。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	訴訟にあたっては、督促や催告書等の送達などの事前準備のほか、訴訟費用等、期間・費用を要することや、訴訟の実績を積み重ねることにより他の滞納者に対する抑止力となる効果を考慮している。職員による実施によりコスト削減を図った上で、強制執行等により債権回収したため、収納率が年々向上している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	獲得した債務名義に基づき、債務不履行者に対し、催告により、自主退去を促し、債権の回収を図った。 悪質滞納者に対する法的措置は、納付の公平性の確保のため必要なものであり、当該滞納者に対する効果以外にも、他の入居者に対して、不正等に対する毅然とした態度を示す必要があるため、時として費用対効果を度外視した法的措置を実施も検討する。		
改 善 策	賃貸借契約の解除を求める場合は、明渡し訴訟による必要があるが、債権保全だけであるなら、支払督促や公正証書等においても債務名義が訴訟に比べ、容易に債務名義が確保できることから積極的な活用を検討していきたい。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	つつじが丘・向野団地建替事業							事業コード	530145					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立							
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931					
事業担当	所 属	35030000 建設交通部 建築住宅課				所属長	中川 博文							
会計情報	款	08 土木費		項	05 住宅費		目	02 住宅建設費		会計	01 一般会計	決算付属資料	198	頁
計画期間	開始年度	平成28年度		終了予定年度	令和9年度		関連計画名	つつじが丘・向野団地建替事業基本計画				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市公営住宅等長寿命化計画、PFI法													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	福知山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、耐用年数を超過し老朽化した市営住宅団地の建替を行い、市民の安心・安全と居住水準の向上を図る。					
対象者	つつじが丘・向野団地入居者		対象者数	150	単位あたりコスト	327.6
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	15,497		46,714		311,589		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		15,497		46,714		311,589							
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0							
	② 国支出金	0		12,320		155,210							
	③ 府支出金	900		0		0							
	④ 地方債	0		20,800		155,200							
	⑤ その他特財	14,597		13,594		1,179							
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	15,497		46,714									
	③ 執行額	10,693		42,976									
	④ 執行率	69.0%		92.0%									
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.75	/	0.00	0.77	/	0.00	0.00	/	0.00			
	② 概算人件費	6,000		6,160		6,160		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		16,693		49,136		6,160		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	市営住宅改善事業(社会資本整備総合交付金)		種類	土木費国庫補助金		12,320		決算付属資料	20		頁
			市営住宅使用料(現年度分)			土木使用料		13,594			12		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標	
			/		/		/		/			
			/		/		/		/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標	
	登記(土地)整理	団地	1	/	1	1	/	1	1	/	0	0
		単位あたりコスト	6275.5		10693.0		42976.0					
			/		/		/		/			
		単位あたりコスト										

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	耐用年数を超過し老朽化した市営住宅団地の建替を民間活力導入により行い、コスト削減、市民の安心・安全と居住水準の向上を図る。 令和3年12月に事業契約を締結し、現在設計中で令和4年度に着工予定。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	民間活力導入による建設等のコスト比較を行い、有効な事業推進ができる。 また、従来方式とPFI方式との比較で経費削減を図っている。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	民間活力導入の事業実施により、スムーズで円滑に事業進捗が図れている。 事業工程の確認も随時実施している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	福知山市公営住宅等長寿命化計画に基づく建替事業であり、居住水準の向上のためにも重要な事業である。また、PFI手法による発注なので、VFM効果とスムーズな進捗管理等より、民間活力を最大限生かしたい。 現在は、設計や許認可取得に着手しており、適切な業務管理を図っている。		
改 善 策	福知山市で初めてのPFI手法による事業であるが、契約完了後から毎月の定例会議を実施しスムーズな事業進捗を図っている。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	都市計画マスタープラン策定事業					事業コード	510223				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立				
	施策名	1 豊かな生活空間の整備				施策コード	931				
事業担当	所属	35050000 建設交通部 都市・交通課				所属長	芦田 裕人				
会計情報	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	192	頁
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	立地適正化計画			R4現在の状況	廃止/休止	
根拠法令等	都市計画法第18条の2										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	都市計画法第18条の2において「市町村の都市計画に関する基本的な方針」として定めるものであり、市民・事業者の理解と協力のもと、福知山市らしいまちづくりを進めるため、その前提となる土地利用と市街地形成、集落環境の改善等について目標を定めるものである。										
対象者	市民				対象者数	77,000		単位あたりコスト	0.2		
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()										
委託先・実施主体等	アジア航測株式会社京都支店										
事業概要 (箇条書き)	・都市計画マスタープラン改定に係る懇話会の意見を聴き、都市計画マスタープラン素案を作成した。 ・都市計画マスタープラン素案について、庁内及び関係機関と協議した。 ・住民意見を反映させるため、説明会やパブリックコメント手続きを実施するとともに、都市計画審議会の意見聴取を行った。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	報償費	50		第5回福知山市都市計画マスタープラン改定に係る懇話会							
	委託料	7,920		福知山市都市計画マスタープラン改定業務							

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	8,105		0		0		予算編成時記入 (3次公表時)		
	② 補正予算	0		0		0				
	③ 繰越予算	△ 8,000		8,000		0				
	前年度繰越	0		8,000		0				
	次年度繰越	△ 8,000		0		0				
小計(①～③)		105		8,000		0				
予算財源内訳	① 一般財源	105		8,000		0				
	② 国支出金	0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0				
決算情報	① 流充用額	0		0						
	② 配当予算	105		8,000						
	③ 執行額	93		7,970						
	④ 執行率	0.0%		99.6%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.45	/	0.00	0.45	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	3,600		3,600		0		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,693		11,570		0		0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	定性的評価		/	/	/	/	
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	懇話会の開催	回	2 / 5	2 / 3	1 / 1	/	
	単位あたりコスト		334.1	747.0	7970.0		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト		—				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	国勢調査等の統計データから課題を抽出し、めざすまちの将来像を設定した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	立地適正化計画を都市計画マスタープランの一部として同時に作成することで効率化を図った。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	あらかじめ実施した庁内検討により、本市の現状を把握し、少子高齢化、市街地の空洞化等の実態に即した課題に対応するため、国の施策等と整合を図りつつ、懇話会の意見を聴き都市計画マスタープランを改定した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	本市の都市計画に定める土地利用規制や各種事業の都市計画決定、変更の指針となる都市計画マスタープランを改定した。改定にあたり、事前の庁内検討や懇話会の意見聴取を実施し、外部の意見等を踏まえながら、目指すまちの将来像を位置づけ、実現に向けたまちづくりの方針や課題解決に対応するための取り組みなどの検討を進めた。【定性的評価】		
改 善 策	本事業により改定した都市計画マスタープランに基づき、都市づくりの取り組みを進める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	既設公園管理事業							事業コード	530201		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立				
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備					施策コード	931			
事業担当	所属	35050000 建設交通部 都市・交通課				所属長	芦田 裕人				
会計情報	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	04 公園管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	194	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名					R4現在の状況	継続中
根拠法令等	都市公園法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (										

事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	都市公園及び三和町の公園を日常的に管理することで、安心・安全な公園を提供する。				
対象者	市民	対象者数	77,000	単位あたりコスト	2.5
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	230,851		186,606		237,432		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	3,852		3,659		0							
	③ 繰越予算	0		△ 7,300		7,300							
	前年度繰越	0		0		7,300							
	次年度繰越	0		△ 7,300		0							
小計(①～③)		234,703		182,965		244,732							
予算財源内訳	① 一般財源	222,417		167,444		184,597							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	420		420		420							
	④ 地方債	0		0		40,300							
	⑤ その他特財	11,866		15,101		19,415							
決算情報	① 流充用額	△ 1,406		1,639									
	② 配当予算	233,297		184,604									
	③ 執行額	233,297		184,604									
	④ 執行率	100.0%		100.0%									
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	1.25	/	0.90	1.12	/	0.00	1.12	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	12,250		8,960		8,960				0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		245,547		193,564		8,960		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	都市公園占用料		種類	土木使用料		実績金額	4,638		決算付属資料	10		頁
		自動販売機設置貸付収入			財産貸付収入			9,116			34		
		三段池公園ネーミングライツ料			雑入			1,613			44		

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	市民ボランティア登録者数	人	36	/	43	36	/	50	36	/	50
	都市公園有料施設利用人数	人	453718	/	449500	285924	/	500000	224644	/	502500
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	都市公園管理箇所	箇所	96	/	96	96	/	96	96	/	96
	単位あたりコスト		2402.4		2430.2		1923.0				
	管理面積	m ²	1866425	/	1866425	1866425	/	1866425	1866425	/	1866425
	単位あたりコスト		0.1		0.1		0.1				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・公園は、良好な都市環境、災害時の防災拠点、レクリエーションや健康運動、文化活動、地域間の交流・連携の拠点など、さまざまな役割を併せ持つオープンスペースであり、市民活動の場を適切に維持管理することは必要不可欠である。 ・維持管理だけでなく、地元要望による施設整備や改修も適宜行っており、令和3年度においてはフェンス設置工事を実施した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・指定管理者公募時の内容及びその後の第三者評価委員会に基づき指定管理業務を発注しており、コスト削減ができています。 ・民間事業者のノウハウを用いて包括的に維持管理や公園運営を行うことで、効率的かつコスト削減を図りながら事業を実施できている。 ・指定管理者制度により、事務にかかる人件費を大幅に削減できている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・公園の整備や管理を、市民と協働し行うことで、愛着が生まれ、市民ボランティアの増加につながっている。 ・三段池公園において、動態調査や、アンケート調査を実施し、公園利用者のニーズ把握に努めた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・三段池公園内及び長田野公園に設置されている体育施設について、より有効的な活用を図るため、平成30年度に策定された「福知山市スポーツ推進計画」を基に管理運営の整理を行い、別の指定管理事業とした。 ・三段池公園において、飲食物を販売する施設がないことから、正午前後の利用者が少なくなる傾向がある。 ・コロナ感染症拡大により施設の利用者は昨年よりさらに落ち込んでいる。		
改 善 策	・人口減少の中、公園利用者のニーズを把握し、管理運営等を改善していくことにより、公園利用者の増加を図る。 ・キッチンカーの誘致等、飲食機能を確保するための仕組み造りを検討していく。 ・コロナ感染症拡大の状況を鑑みながらではあるが、イベント実施等、利用者回復のための取り組みを検討していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	都市公園等環境整備事業							事業コード	530209					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	3 生活基盤の確立						
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931					
事業担当	所 属	35050000 建設交通部 都市・交通課					所属長	芦田 裕人						
会計情報	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	04 公園管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	194	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和5年度	関連計画名						R4現在の状況	継続中		
根拠法令等														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	都市・交通課で管理する都市公園等の公園内樹木が繁茂し見通しが悪くなっていることから、剪定、伐採することで、安心・安全な公園を提供する。				
対象者	市民	対象者数	77,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	0		5,500		8,000		予算編成時記入 (3次公表時)		
	② 補正予算	0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0				
	小計(①～③)	0		5,500		8,000				
予算財源内訳	① 一般財源	0		5,500		8,000				
	② 国支出金	0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0				
決算情報	① 流充用額	0		1,492						
	② 配当予算	0		6,992						
	③ 執行額	0		6,992						
	④ 執行率	0.0%		100.0%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.19	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	0		1,520		1,520		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		8,512		1,520		0		
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	見通し改善公園数	箇所	/	/	4 / 6	/ 7	22
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	伐採公園数	件	/	/	4 / 6	/ 7	22
	単位あたりコスト				1748.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・樹木の、適切な維持管理は、公園利用者や周辺住民にとって、良好な都市公園の環境を整えるために必要である。 ・地域からの要望を受けて、現地調査を実施し、その緊急度に応じて、優先順位を決めて事業を実施している。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・地域ごとに取りまとめ発注することで、工期短縮や、スケールメリットによるコスト削減を図っている。 ・指名競争入札による価格競争によりコスト削減を図っている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・樹勢弱ったの樹木や、大きくなりすぎた樹木を適切に処理することで、台風や豪雨等の影響により、倒木等による被害を回避できる。 ・令和3年度においては、伯耆丸公園全域の法面の伐採を実施し、視距の確保することで防犯性能の向上、また、枯損木の倒木等による被害を未然にふせぐことができた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・大規模な樹木伐採・剪定が必要な公園は、増加傾向にある		
改 善 策	・歩行者や通行車両の支障となっているもの、民家の敷地内に侵入しているもの、倒木の恐れがあるものなど、緊急性や危険度を総合的に判断し、優先順位を決めて事業を進める必要がある。 ・令和4年度においても、危険度や緊急性の高い公園から優先的に事業を進める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	公園施設長寿命化対策支援事業										事業コード	530260				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち						政策目標	3 生活基盤の確立							
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備								施策コード	931					
事業担当	所 属	35050000 建設交通部 都市・交通課						所属長	芦田 裕人							
会計情報	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	05 公園施設費		会計	01 一般会計		決算付属資料	196	頁	
計画期間	開始年度	平成27年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市公園施設長寿命化計画					R4現在の状況		継続中	
根拠法令等	都市公園法															
事業区分	☒ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	公園利用者の安全を確保し、施設のライフサイクルコストの削減と、三段池公園内施設の防災機能を高めることを目的とする。				
対象者	市民	対象者数	77,000	単位あたりコスト	1.7
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	20,000		100,000		108,000		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	18,000		25,000		0								
	③ 繰越予算	298,962		△ 31		30,000								
	前年度繰越	328,931		29,969		30,000								
	次年度繰越	△ 29,969		△ 30,000		0								
小計(①～③)		336,962		124,969		138,000								
予算財源内訳	① 一般財源	5,126		2,739		0								
	② 国支出金	167,001		54,465		52,500								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	164,200		61,700		69,400								
	⑤ その他特財	635		6,065		16,100								
決算情報	① 流充用額	△ 40		0										
	② 配当予算	336,922		124,969										
	③ 執行額	334,002		123,881										
	④ 執行率	99.1%		99.1%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.49	/	0.00	0.40	/	0.00	0.40	/	0.00				
	② 概算人件費	3,920		3,200		3,200		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		337,922		127,081		3,200		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	公園施設長寿命化対策支援事業(防災・安全交付金)		種類	土木費国庫補助金		実績金額	52,464		決算付属資料	20		頁
			公園施設長寿命化対策支援事業(長寿命化債)			土木債			11,300			52		
			公園施設長寿命化対策支援事業基金繰入			基金繰入金			5,236			40		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	都市公園有料施設利用人数	人	453718	/	449,500	285924	/	500000	224644	/	502500
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	長寿命化工事件数	件	4	/	3	9	/	7	3	/	5
	単位あたりコスト		22085.3		37111.3		41293.7				
	単位あたりコスト		/		/		/		/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・施設を長寿命化するための工事や修繕はライフサイクルコスト削減の上で必要不可欠である。 ・予防保全型による維持管理は、利用者の安全を確保するうえで必要である。 ・令和3年度においては、利用者からの要望を受けて老朽化した植物園トイレの改修及び洋式化を実施。 ・ライフサイクルコストの削減を目的とし、総合体育館の外壁改修ならびに児童科学館の空調設備機器の更新を実施。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・福知山市公園施設長寿命化計画に基づき、危険性や重要性が高い順に適宜実施している。 ・国庫補助金等を有効活用し、効率的に事業を実施している。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・利用者ニーズに応じた改修を実施することで、利便性の向上ならびに利用者満足度の向上を図っている。 ・計画的に長寿命化対策を実施することによりライフサイクルコストの削減が図れている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・公園施設長寿命化計画により、施設の健全度判定を行っており、改修等の優先順位が示されているが、災害時における防災機能向上や、利用者ニーズも考慮し事業を実施する必要がある ・国庫補助対象外の施設についても対策が必要である。		
改 善 策	・令和4年度においては、多目的グラウンドのトイレの洋式化ならびに円形広場の改修を行い、利便性の向上を図る ・国庫補助対象外の施設については有効な財源を確保するように努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)